

一般質問



成瀬多可子議員



▲東浦中学校 部活動風景

三つ目に夏季休業前の保護者会で累積評価による助言を行い、休業中の学習に活かしてもらうこと。
こうした方策はどの生徒にも有効なもので、学校による違いはないものと考えています。

問 東中PTAが実施した一期制と三学期制についての保護者アンケートの結果をどう受け止めていますか。

結果については「どちらでもない」という意見もあり、二期制、三学期制のメリット、デメリットを十分理解してもらつた上で、全町の保護者から意見を聞く必要がありますと考えています。

二期制がよい	42
三学期制がよい	331
どちらでもない	132
合 計	505

(対象808世帯 回収率62.5%)
25年5月実施

中学校の「学習の二期制」について、昨年度から現在までのどのような検証を行つてきましたか。

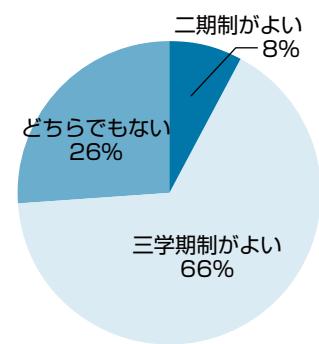
12月と2月の計2回、校長会長、各中学校の教頭・教務主任、

教育長、指導主事らで二期制問題検証委員会を持ちました。検証委員会では、メリットを活かし、デメリットを緩和するための方策を話し合いました。

一つ目は、評価の回数は減少するものの単元ごとの小テストなどで日常の評価を累積し、それを活用した指導を行うこと。

二つ目にテストの回数を前・後期の中間・期末のみと固定せず、弾力的に考えること。

問 東中PTAによる学期制アンケート



問 一期制・三学期制の決定の主導権を、各中学校に持たせるのはどうですか。

答 町内の各種行事や大会等の日程調整、教育行政を一体化して進めの必要性などを総合し、3中学校足並みを揃えることが必要と考えています。

答 26年度にアンケートを実施予定

学習の一期制か三学期制か

今後の一学期制か三学期制かの判断、合意形成をどうはかっていきますか。

一般質問



▲鎌池川

答 近隣工場廃水も原因の一つで過去にも臭気が発生し、改善要請をしました。今年も11月7日に県と合同で立ち入り調査し、水質に影響のない洗剤使用など改善を求めました。

答 町内企業48社との公害防止協定と環境パトロールによる監視・指導概要を伺います。

答 産活動で発生する公害を未然に防止し、地域の安全で快適な生活環境の保全を図ります。環境パトロール車による監視は、入りの他、野外燃焼行為

問 鎌池川の水質BO
答 D(生物化学的酸素要求量)が毎年環境基準より高い原因を伺います。



▲耕作放棄地

問 耕作放棄地のうち、土地整備面積および不在地主面積を伺います。

答 耕作放棄地は117ha(畠68ha・水田49ha)でその内、土地整備面積は73ha、不在地主面積は44haです。

問 農地利用集積円滑化団体であるJAあいち知多

答 現在、農地バンク制度により担い手農家に耕作放棄地を紹介し、解消に努めています。

問 農地集約化と規模拡大による効率性をJAとの協議で今後どのように様な指導方針を伺います。

答 構が設置され、農地集積と集約化により、効率化および高度化を促進していきます。

東浦の環境



西尾弘道議員

耕作放棄地の今後の対策はJAと連携し農地集約化を図る

廢棄物の不法投棄、騒音・振動・悪臭や河川の水質状況の監視を行っています。

不登校とひきこもり

問 町のひきこもり人數とその支援策および、小中学生の不登校の人数を伺います。

答 厚生労働省の調査から推定すると、本市は約100世帯ひきこもりの人をかかえている計算になります。今年度より講演会や連続講座などのひきこもり対策事業を実施しています。

不登校は現在、小学生6名・中学生36名です。

問 町内企業48社との公害防止協定と環境パトロールによる監視・指導概要を伺います。

答 産活動で発生する公害を未然に防止し、地域の安全で快適な生活環境の保全を図ります。環境パトロール車による監視は、入りの他、野外燃焼行為



▲発展が望まれる JR 東浦駅周辺



長坂唯男議員

笑顔あふれるいきいき都市は

答 総合計画最終目標を32年度に

定しています。

問 将来の東浦の住民の夢と希望がいっぱい詰まつた、第5次東浦町総合計画の具体的な目標について伺います。

答 総合計画の中間年度である27年度の都市計画道路整備率は、50%，最終年度の32年度では55%を目指としています。27年度からは、藤江線の366号東および養父森岡線の予備設計を予

問 自然環境・景観

答 自然環境および景観について伺います。



▲久米常民先生



▲久松潜一先生

結論を出したいと考えています。

問 東浦町郷土の偉人である久松潜一先生の現状について伺います。

答 25年3月に発行し、小学校は5・6年生、中学校は1年生から3年生の総合学習で学んでもらうため、各学校に配布しました。

小・中学校の施設

の施設

問 学校によつては、水はけの悪い校庭があります。改良の考え方を伺います。

答 全面改修の必要性があると考えますが、現在は砂を入れることなどで対応しています。

中央図書館の 諸案件

の施設

問 中央図書館の指定管理者制度導入について伺います。

答 第5次総合計画に合わせて策定した都市計画マスターープランは、26年度に策定予定です。

問 制度の導入について伺います。

答 26年度末には、26年度末には

問 まちづくりの課題について伺います。

答 25年度においては、住民が主体となったワークショップや住民アンケートを行い、景観資源の拾い出しをしています。

問 これらの地域の意見を踏まえ、道路・公園・緑地などや商業・医療などの生活利便施設の配置を26年度に策定予定です。

問 中央図書館の指定管理者制度導入について伺います。

答 第5次総合計画に合わせて策定した都市計画マスターープランは、26年度に策定予定です。

問 全面改修の必要性があると考えますが、現在は砂を入れることなどで対応しています。

答

一般質問



▲ポイントカード（静岡県三島市）

答 子どもから青年層に至る若者世代までのサポートは子ども・育て支援に関わる新制度で会議の設定を検討しています。

この会議で青少年問題や次世代育成支援も検討し、関係各課、関係機関の連携強化やスマート化など、町が手を差し伸

対応ができるようにしていきます。

障がい者の就労支援

問 障がい者就労支援機会拡大のため、一般企業説明会実施の働きかけに、町が手を差し伸

※子ども・若者サポートシステム

※子ども・若者サポートシステム



▲産業等現場実習（半田養護・高等部）

答 知多2市2町障がい者支援ネットワーク会議の就労部会を通じて関係機関に働きかけ、また本町の作業部会に、町商工会、知多地域障がい者就業・生活支援センター「ワーク」が参加しているので、町内の企業を対象にした説明会の実施も検討していくと考えています。

※健幸マイレージ

日々の健康づくりの実践記録をポイント化して特典を与える三島市の制度

べることができないか所見を伺います。



米村佳代子議員

健幸マイレージの取り組み

答 動機付けになることは検討する

問 ポイント制度により、がん検診や特定健診等の受診率が上がり、健康になるとことで、医療費や介護費の抑制に繋がり、さらに地域活性化が見込まれる「健幸マイレージ」の取り組みがないか伺います。

答 介護予防や認知症予防に有効とされる運動に取り組むための動機付けになることについては、検討したいと考えています。

来年度以降に愛知県が静岡県と同様な事業を計画中で、近隣市町の状況を踏まえ県の動向に注目していきます。

問 義務教育が終了すると支援は途切れがちです。

答 不登校の生徒がひきこもりやニートになる可能性が高く、予防となる施策を考えているか伺います。

子ども・若者サポートシステム

答 子ども・若者サポートシステム

答 予どもから青年層に至る若者世代までのサポートは子ども・育て支援に関わる新制度で会議の設定を検討しています。



▲産業等現場実習（半田養護・高等部）

答 知多2市2町障がい者支援ネットワーク会議の就労部会を通じて関係機関に働きかけ、また本町の作業部会に、町商工会、知多地域障がい者就業・生活支援センター「ワーク」が参加しているので、町内の企業を対象にした説明会の実施も検討していくと考えています。

※健幸マイレージ

日々の健康づくりの実践記録をポイント化して特典を与える三島市の制度



▲交通安全教室（藤江保育園児）



田崎守人議員

交通事故ゼロへの取り組みを

答 事故マップ作成で対策を検討

問 交通安全灯、道路反射鏡設置に毎年200万円の事業費を見込む根拠を伺います。

答 過去、3年間の事業実績で予算を計上しています。

問 22年から3年間の月別交通事故発生状況をみて今後、新たな施策を講じる考えがあるか伺います。

答 事故抑制対策として、ドライバーや歩

行者の交通ルール遵守やマナーの向上を繰り返し啓発していくことが重要と考え、今後も子供たちの交通安全教室等を通して、家庭へも啓発を行っていきます。

問 学区別交通事故発生状況について、町としてどう分析し必要な対策を講じているか伺います。

答 通学路の路肩のグ

リーン舗装化、交差点のカーブ舗装化等を実施し、ドライバーへの注意喚起も行っています。

今後は、各小学校区付近での「ゾーン30」の設定を地区や警察と協議していきます。

問 交通事故の発生場所や状況等を交通事故マップで見える化し、危険箇所を洗い出し、必要な場所に必要な対策の優先順位付けをして講じることも交通事故防止手段の一つと認識しますが、その考え方を伺います。

答 交通事故発生場所等をマップ化することは、一目瞭然で、事故の発生場所や頻度がわからず、事故の抑制対策を検討できると考えるため、マップ作成による対策を検討したいと考えます。

答 リスクアセスメント

問 交通事故を未然に防ぐ新たな施策として、リスクアセスメントを活用した取り組みを行う考え方があるか伺います。

答 来年より半田市が証実験を行うと聞いているので、調査したいと考えています。

問 道路の凹みや路肩の草刈り、道路上の危険物等の情報を迅速に収集し、事故の未然防止に繋がる施策としてFix My Streetを活用する考え方があるか伺います。

●Fix My Street(フィックスマイストリート)とは
英国の mySociety が開発したアプリケーションで、道路施設の破損や不法投棄などに気づいた住民が報告し、行政はそれを見て必要に応じた対応を行う仕組みのこと。

●リスクアセスメントとは

なにか計画をたて、実行する際、事前にリスクの大きさを評価し、そのリスクが計画実行の上で許容できるか否かを決定するプロセスのこと。

一般質問

答 商業振興条例の設置により商業推進の方向が示され商業者や町になり協働のまちづくりに大きく貢献。運用は商工会、町の責務が明確になります。

問 商業振興条例の効果と運用、商工振興課の役割について伺いま
す。

町の元気を創る税
収安定施策について
伺います。

本町も地域の元気臨時交付金などの確保に取り組んでいます。

須賀川に桜並木
問 町内各地に県が管
理する二級河川が存

藤江小周辺
須賀川に桜並木



▲商業振興でまちのにぎわい

業者が自ら工夫し、消費者に支持される商店づくりを目指します。商工振興課は国・県と連携して、地域ぐるみで商業振興に努めていきます。

アベノミクス 施策対応

施策の成果

在します。現在、明徳寺川沿いは整備が進められています。藤江住民から須賀川沿いの桜並木、藤江小学校周辺の整備を要望が上がっています。本町の考え方を伺います

本町の高齢者対応施策 や高齢者虐待対応施策

商業振興条例の狙いは

中村六雄議員

答 経営基盤強化と地域貢献を推進

答 都市基盤を整備し、企業立地を促進、産

歳出削減

在します。現在、明徳寺川沿いは整備が進められています。藤江住民から須賀川沿いの桜並木、藤江小学校周辺の整備を要望が上がっています。本町の考え方を伺います

26年度中に景観計画において基本方針や目標を定め、その中で緑のネットワーク形成のため緑道遊歩道として整備を進めたいきたいと考えています。

答 今年度より景観計画に取り組んでいま



▲地域の元気をつくる並木構想（藤江須賀川沿い）

まちづくりの基本的な考え方 (補完性の原理)

①個人でできることは個人で解決する	自助
②個人でできないときは、まず家庭がサポートする。	互助
③家庭で解決できないときは、地域コミュニティ、あるいはNPO(民間非営利団体)がサポートする。	共助
④①～③で、どうしても解決できない問題について、はじめて自治体(政府)が問題解決に乗り出す。	公助

▲石浜まちづくり勉強会資料

- 答 事業仕分け後の住民への説明をどうしてじくのか伺います。
- 問 事業仕分け後の住民への説明をどうしてじくのか伺います。
- 答 仕分け終了後は、必要かつ有効な事業です。

高所にある 防犯灯等の LED化

- 答 行政と住民がお互いの役割を理解して、それぞれの役割を果たして行政需要や財政負担の減を図っていくことになると考えます。
- 問 2050年には、65歳以上1人に対しても20～64歳は1人と肩重型社会が到来し、新たな社会保障費等の義務的経費の増加で東浦の未来に不安を感じないか伺います。

- 問 まちづくり自治基条例の制定に向けた取り組みを伺います。
- 答 講演会等を開催するなど認知度を高めながら、住民投票制度や公募型の補助金制度の創設を行い、より多くの住民の皆さんの参画により、「がんばる地域支援交付金」や「提案事業交付金」の交付、関

- 答 「地域力を高め、絆への活動支援を伺います。
- 問 高齢者安心カード登録基準を伺います。

- 答 登録基準は①1人暮らしである②同一敷地内に他に住んでいない③隣地に2親等以内の親族が住んでいない④民生委員が確認していることです。また、高齢者世帯でいずれか一方が要介護4以上の介護認定世帯も対象です。

に資源を集中するよう取り組んでいきます。



▲1灯が消えJIS基準に満たないコート

- 問 テニスコートのJIS照度基準と1灯が消え、2灯の状態を伺います。

- 答 防犯灯3600円～5600円、交通安全灯3万5千円～4万7千円、グラウンド5万2千円、屋内運動場1万5千円～6万円、文化広場テニスコート4万円程度です。



外山眞悟議員

まちづくり自治基本条例の制定

答 制定に向け多くの住民参画を

- 問 防犯灯、スポーツ施設等の照明1灯の取り換え費用を伺います。

一般質問



▲元気交付金が充当される新学校給食センター



水野照三議員

地域の元気交付金の使い道は

答 新給食センター整備事業に充当

問 総務省より「地域の元気臨時交付金」が交付されましたが、町はどう活用しますか。

答 この交付金は、国の緊急経済対策として公共事業の地方負担額

で算定され、本町の交付限度額は、5億5,383万2,000円。新学校給食センター整備事業に5億1,200万円を充当し、町債発行を4億6千万円減額できます。

問 「地域経済の活性化と雇用の創出を図る」という目的から、すぐれていると思います。5億数千万円の使い道をそれぞれの部課で考えましたか。

答 5億を越える金額が判明したのが9月で、限度額に見合った交付対象事業の選定が時間的にも厳しく、算定の元となる事業に充当した結果の一つが、新学校給食センターでした。



▲拡幅が待たれる森岡駅西交差点

地区実態点検

問 地区実態点検の要望数と対応済件数はどうのべられていますか。

答 23年度の要望数は153件で、対応済件数は62件。24年度は100件中46件。25年度については、127件中64件です。

問 活用してない土地の今後の計画を伺います。

答 要望について、施工可能と不可能の金額設定はありますか。また予算の総額を決めていますか。

問 現在、何ヵ所あり、面積はどのくらいですか。

答 公有財産は、行政財産と普通財産があり、売買や貸付けができる普通財産は、25年3月末現在6万m²で、そのうち雑種地等の活用してない土地は9ヵ所、7000m²です。

問 活用してない土地の今後の計画を伺います。

答 一般公募による売却を行い、より一層の税外収入を確保して公共サービスの向上を考えています。

問 現場を確認した上で必要性・事業効果を検討し、対応できるものから実施しており、施工可能と不可能の金額による区分はしていません。地区実態点検に係る予算の総額は定めていません。



山田眞悟議員

安心できる介護保険制度を 答 訪問・通所介護が町に移管



▲ひだまり（緒川）

問 安心できる介護保険制度の確立を政府に求める考え方を求めます。

答 訪問介護（ホームヘルプ）および、通所介護（デイサービス）が27年度からの3年間に市町村事業に移行する案

が示されました。
今後は動向を見守つて必要な措置を講じます。

問 生きがい活動支援
通所「ひだまり」や「ふれあいサロン」の活動充実を求めます。

答 「ひだまり」での活動は介護予防の在り方を視野に入れた活動を検討していきます。

「ふれあいサロン」は内容の充実に向けて、ボランティア、地域住民に働きかけをしていきます。

国勢調査

問 国勢調査人口水増し事件は、市制施行を急速に起きた町政史上最大の汚点です。

答 上位下達・上司の命令には逆らえないと古い体質から自由にものが言える体質に脱却した役場づくりを求めます。

その反面法令等への精通さが不十分と感じます。

再発防止のために組織風土を変え、組織として判断しますか。

答 職員は上司からの職務命令には従うといふ真面目さがあるが、

常に正常に機能する体制づくりが必要と考えます。

答 27年では人口5万人を超えた場合には



▲事業仕分け

進めたい。住民投票は住民の意見を聞き実施の可否を判断します。

事業仕分け

問 事業仕分けで廃止の意見が出された高齢者ブール等施設利用助成・高齢者生きがいづくり・地球温暖化対策機器設置補助の各事業は、福祉や自然環境を守る重要な事業です。安易に廃止にするのではなく継続を求めます。

答 行政サービスの妥当性、費用対効果から見直しの必要性を感じていた事業で判定結果を検証し、まとめていきます。事業仕分けは当初から2年計画であり、来年度は実施しません。

問 次回5万人を超えて、市制移行は幅広い住民の意見を聞いて判断しますか。

答 27年では人口5万人を超えた場合には

一般質問



▲知多刈谷線名鉄交差部

問 知多刈谷線の名鉄
河和線との交差部の
進捗状況を伺います。

答 知多刈谷線の整備
手法については、こ
れまでの経過は尊重する
が、道路高架に必要な用
地は確保されており、鉄

道高架には新たな用地確
保が必要となります。ま
ちづくりにスピード感が
求められる中、まちづく
りのための時間と莫大な
費用を必要とする鉄道高
架ありきではないまちづ
くりを考えていただきたいと
思います。

消費税率改定の 据え置き

問 26年度当初予算へ
の影響額と地方消費
税の関連を伺います。

答 一般会計の歳入で
は引き上げに伴う影
響額は40万円ほどの増額、
地方消費税交付金は1億
円ほどの増額を見込んで
います。

問 一般会計は据え置
くことの選択肢はな
かつたのですか。

答 使用料は消費税を
含んでいるので転嫁
せざるを得ません。

答 影響額を約2000
万円、下水道会計は約9
00万円の見込みです。

答 新しいOSに切り
替えなかつた場合の
影響はありますか。

答 セキュリティ上の
新たな脆弱性が発見



山下享司議員

知多刈谷線と名鉄高架について

答 鉄道高架ありきではない

されても、解消する更新
プログラムが提供されな
いことになります。

問 セキュリティ対策
は万全ですか。最終
的費用はどれだけですか。

答 X P対策は470
台のパソコン全て切
り替え可能で、5年間の
借り上げ料総額は280
0万円余りです。

答 X P対策は470
台のパソコン全て切
り替え可能で、5年間の
借り上げ料総額は280
0万円余りです。

スマートフォン投稿で 地域課題の解決



▲ウインドウズ 7

ウインドウズXP 終了の対応

地域課題の解決

問 地域の課題、問題
点をソーシャルメデ
イアを活用し、対応の迅
速化・効率化を図るため
システム導入の考えはあ
りますか。

答 新たな住民参加・
住民協働の手法とし
てのこれらの仕組み、調
査研究をしていきます。



小田清貢議員

隣組スタンプラリーの考えは

答 様々なアイデアを尊重します

問 まちづくり勉強会について伺います。

問 成果と問題点をどうお考えますか。

答 して広がりを見せていないこと、行政との意見交換、協働の取組みが弱いことがあげられます。

答 地域が主体となり、地域の課題を発見し、解決する方法を学ぶ勉強会で、2年にわたり各地で年6回程度開催されています。

答 成果は、今までの行事中心の活動から、地域の課題解決に向けた新たな取り組みが行われています。問題点は、まだ住民全体の取り組みと

答 地域の連帯感を高める方策として、隣組がそれぞれのお宅を訪問する「隣組スタンプラリー」のような仕掛けが効果的ではないですか。

各地区コミュニティ推進協議会におけるまちづくり勉強会の実施状況

22～23年度	森岡・卯ノ里
23～24年度	藤江・生路
24～25年度	緒川・石浜

答 隣組のつながりの希薄化は、どの地区においても課題とされています。

大切なことは、地域の実情にあつた方策を、地域で話し合い、実行していくことであり、皆さんの様々なアイデアを尊重し、町としてできることを協力していくたいと考えています。

答 AEDの設置

問 AEDの設置状況と、使用状況について伺います。

答 ています。使用状況は、幸いにも現在のところ使用した例はありません。

答 今年度は2地区で駆け馬が開催されず残念ですが、町として地域に生きる伝統文化として継承されるようお願いしていきたいと考えています。

答 おまんと祭り

問 今後、コンビなど、24時間使用可能な場所に設置していくことを必要ではないかと思いますがどうですか。

答 おまんと祭り

森岡地区では、町指定文化財のおまんと祭りですが、開催されない地区もありました。今後の展望について伺います。



▲おまんと祭りが紹介されているパンフレット(郷土資料館発行)

答 現在、いつでも使用できるよう、小中学校の屋外に設置するとも考えています。今後、他施設に設置するかどうかも検討したいと思います。